

第45回相模原支部総会

骨量減少リスクは予防可能

記念講演は「宇宙医学に学ぶ健康長寿」

相模原支部は去る5月9日、小田急ホテルセンチュリー相模大野で第45回支部総会を開催。議事では11年度活動報告、12年度活動方針(案)、11年度会計報告など全議題を異議なく採択した。

代表される過酷な作業環境で、骨量減少、筋萎縮など地上で高齢者が抱えている問題と同じことが起こる」と説明。そして、宇宙医学はこれらの問題を軽減するための予防医学で、「地上の人々の生活に役立つ知識が蓄積されている」と話し、宇宙医学から得られた健康増進の秘訣を紹介した。

総会では、はじめに相模原市医師会から会長の黒沢恒平氏が来賓の挨拶。「今年次改定では、在宅医療に重点が置かれた配分となっており、一般診療所は実質マナス改定に等しい。次回改定では、何としても再診料の引き上げが必要。医療を取り巻く情勢は、消費税増税やTPPなど課題が山積しており、厳しさを増す

一方だが今後も医師会と保険医協会で連携して打開していきたい」と述べた。その後、11年度活動報告、12年度活動方針(案)、11年度会計報告など全議題を異議なく採択。活動報告では、循環器疾患をテーマに開催した医科歯科連携研究(交流)会など、医科歯科一体の取り組みを報告。活動方針では、審査・指導問題や税務や労務をはじめ医療経営上の問題など、制度上の変化や支部会員のニーズに配慮されるような企画を今年度も積極的に実施していくこと、また会員相互の親睦を深める活動にも継続して取り組んでいくことなどを確認した。

続いて記念講演が行われ、大島氏は「宇宙飛行士が活動する宇宙空間は、微小重力、宇宙放射線などに

神奈川県保険医協会 相模原支部ニュース

第178号 2012 9.25



円内は記念講演師の大島博氏

最後に氏は、「骨量減少や筋萎縮などのリスクは正しく対処すれば予防は可能である。一方、現在日本では

患者クレーム対応で支部研究会 予防策の良好事例を紹介

相模原支部

相模原支部は6月28日、町田市民ホールで患者クレーム対応研究会を開催。「医療機関における暴言・暴力対策」安全で安心な医療機関をめざして」をテーマに北里大学医学部公衆衛生学講師の和田耕治氏が講演し、14名が参加した。

はじめに氏は、具体的なクレーム事例を紹介しながら、対処方法について説明(表1参照)。暴言・暴力の理由は「診察開始時間が遅い、人員が少ない」など様々。暴力が一番問題となるのは怪我人が出ることで、職員が退職してしまうこと。これは病院にとっても大きな損失となるので、対応は骨粗鬆症は約1千100万人と推定されており、70歳以上の女性の二人に一人が骨粗鬆症。骨折は年間約15万人となっている。北洋やカナダでは検診や治療を計画して骨折を減らしているが、日本では高齢者人口



円内は講師の和田耕治氏

などは個人にふりかかってくる事であっても個人の問題にせず、組織で考えることが重要であると述べた。また、最近では事務職員がターゲットにされることも多く、スタッフが患者からクレームを受けていても院長にそれが伝わっていないということもある。普段からスタッフとのコミュニケーションを図り、逆に院長から患者クレームなどがなかったか声をかけることも大切とアドバイスした。

次に、医療従事者の健康と安全を守るための取組みについて説明。日本の医療福祉産業の就業者は616万人と建設業よりも多く、とくに医療従事者は感染症など生物学的要因、消毒薬など化学的要因、さらにストレスや暴力、ハラスメントといった社会心理的要因が増加する中、検査や治療に出来ない患者さんも多く骨折発症率は上昇しているのが現状。是非、宇宙医学で予防医学を啓発し、宇宙医学の成果を健康増進に生かしてほしい」と結んだ。

ら包括的に守っていかねばいけないと述べた。また氏は、医療機関での暴言・暴力対策の目的について触れ、①医療従事者が安心して医療を提供できる環境づくりとともに、患者が安心して医療を受けられること、②暴言・暴力は許さない、医療従事者は組織で守るという方針を明確にすること、③例外的な事例は対処が難しいため、組織の叡智を持って対応することの3つをポイントとして挙げた。また、耳に入る暴言・暴力は氷山の一角であると指摘し、暴言、暴力を減らすためには、対応する職員の質の低下や協力し合わない職場風土、暴言や

表1 患者トラブルへの対応の例

Table with 4 columns: 過度なクレーム (レベル1), 暴言や強迫を伴うもの (レベル2), 器物破損 (レベル3), 治療を要する暴力行為 (レベル4). It details specific actions for each level of incident.

表2 改善アクションチェックリスト2011 (主な項目)

Table with 2 columns: 改善チェック項目リスト (Improvement Check Item List) and この対策を提案しますか? (Do you propose this measure?). It lists 11 items for improvement and asks for proposals.